



1957年東京交響楽団アサヒコンサート

©東京交響楽団



平成27年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業

# 世界における我が国オーケストラのポジション

アメリカ・オランダ・ドイツ・フランス・日本の音楽評論家によるシンポジウム

Vol.2

2016.1月20日|水|

政策研究大学院大学1階 想海樓ホール

第1部

16:00 - 18:00

音楽評論家から見た  
現代欧米オーケストラ事情

第2部

18:30 - 20:30

世界における我が国  
オーケストラのポジション Vol.2

パネリスト

Mark Swed  
マーク・スウェッド<米>  
| Los Angeles Times |

Guido van Oorschot  
ガイド・ヴァン・オールショット<蘭>  
| de Volkskrant |

Manuel Brug  
マニュエル・ブルグ<独>  
| Die Welt |

Christian Merlin  
クリスティアン・メルリン<仏>  
| Le Figaro |

Numano Yuji  
沼野雄司<日>  
| 桐朋学園大学教授 |

| 司会 | 加納民夫 Tamio Kano

定員:200名 参加費:無料(要事前申込) 日英同時通訳付き


主催:文化庁・公益社団法人日本オーケストラ連盟

お問合せ:日本オーケストラ連盟 03-5610-7275 <http://www.orchestra.or.jp/>

1927年新交響楽団(現NHK交響楽団)  
初の「第9」コンサート

©NHK交響楽団





日本のオーケストラは洋楽が輸入されたこの150年の間に目覚ましい発展を遂げ、欧米のオーケストラと比較しても遜色のない音楽的な質を獲得するまでに至っています。

しかしながら、演奏技術の高さや、音楽の知識も豊かな聴衆と共に育んできた音楽性の豊かさなどは世界に知られているとは言えません。

こうした状況に一石を投じようと、昨年に引き続き、日本のオーケストラのポジションを正しく把握し世界に発信するために、欧米から影響力のある音楽評論家が日本でオーケストラを聴き、評論する機会を設けました。この成果を客観的に認識し、更なる進化をこのシンポジウムにて深めることが出来ればと願っています。

## お申込方法

申込方法: メールにて件名を「1月20日シンポジウム」とし  
下記事項を明記の上、お申し込みください。

送信先: [info@orchestra.or.jp](mailto:info@orchestra.or.jp)

- ①お名前 ②ご所属/部署
- ③お電話番号、メールアドレス (お申し込みのメールアドレス)

申込締切: 2016年1月18日(月) お申し込み多数の場合は先着順

お問合せ: 日本オーケストラ連盟 03-5610-7275  
<http://www.orchestra.or.jp>

## 想海楼ホールアクセス

※南門の1階入口にて、必ず受付をして下さい。(正門からの入口は3階になり、お入り頂けません。)



主催: 文化庁・公益社団法人日本オーケストラ連盟

